

ほうかんちょうしょうてんがい

奉還町商店街

(奉還町商店街振興組合)

岡山県岡山市北区奉還町

大政奉還時に武士が築いた街を 令和の連携の舞台へと進化させる



取組の背景

コロナ禍を経て視えた 奉還町独自の可能性

当商店街は近年、商店街組合執行部の若返りを図り、斬新な集客・販促事業を展開するための内部人材を充実させてきた。これまで若手執行部の実行力と青年部の柔軟な発想力という二つの強みを活かし、プロサッカー試合のパブリックビューイングとその試合結果に応じた商品割引、ドローンレース、全国古着市など、新たな客層に高い訴求効果のある事業を展開してきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い2020年6月の来街者は前年同月比と比較して約20%減少。また、毎年行う大型集客イベントが軒並み中止となった。こうした状況のなか、商店街組合員メンバー

一人ひとりの考えにより、「ウィズコロナを踏まえると、大型集客イベントの代わりに何ができるか」を考え、協力して企画運営していく必要性が浮かび上がった。話し合いのなかで、これまで各個店がそれぞれの常連客に支えられており、裏を返すと新規客層の取込みが不十分だったという課題が見えてきた。また、これまで可視化できていなかった当商店街のスケールメリットとして、①さまざまな業種のプロフェッショナルがいること、②店主同士の強固な横の繋がりと結束力、③「密」にならない商店街の構造、という3点が挙げられた。これらのメリットを活かし、商店街の課題解決のまえに何より常連客のために何ができるかを考え、下記の2つの事業を企画、実施した。

取組の内容

さらしマスクの早期配布と ぐるり奉還町で回遊促進

まず、常連客へのさらしマスクの配布を実施した。地域の寺院に返礼品として大量のさらしがあつたことに着目し、そのさらしでマスクを作り、商店街の利用者に無料配布。日用品を買い回りにいつも商店街を利用してくださるお客様に対する感謝の気持ちと、コロナ収束後またいつものように商店街を利用していただきたいという2つの願いを込めた取組である。この取組は、緊急事態宣言が発令され、全国的にマスク不足が深刻なタイミングで早期に実行する頃実施できたため、地域の要望に的確に応えた社会貢献活動となったことを通じて、常連客の商店街に対する愛着を高める結果となった。次に、「ぐるり奉還町」事業においては、2020年8月に、3密を避けながら商店街内の回遊・新規開拓を促す取組としてチラシにて販促事業を開始。これは、お客様がある店舗を利用した際にその利用証明となるカードを配布し、商店街内の他店舗で提示すれば割引や特典を受けられるという仕組みで、組合有志の発案に

より生まれた。これまで特定の店舗のみを利用していた顧客に、未開拓の店舗を周知して、割引によって来店動機を促し、各店舗に新規顧客獲得の機会を創出する狙いもあり、顧客、店舗双方にとってメリットの大きい事業となった。

コロナ禍の緊急事態にあっても、これらのような前衛的な活動に次々と取り組み、早期に地域住民の要望に応えられた要因には、発想力・実行力のある若手人材を継続的に充実させてきたこと、そして彼らの意見を聞き、街全体で協力する横の繋がりが構築されていたことが大きい。



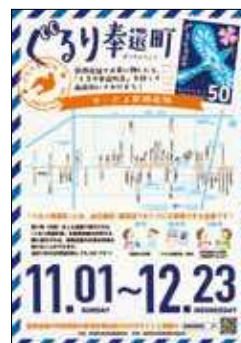
配布された「さらしマスク」のパッケージ

取組の成果

若手・新規店舗の活力が
新たな街の連携を構築した

成果として設定した「ぐるり奉還町の参加店舗売上」は取組前に比べて10%の上昇となった。また、若い商店主や新規出店の店舗が積極的に参加したことで若者の飲食と回遊が増えた。これは、既存客の回遊促進のみならず、商店街に新規顧客も生み出した成功の証と言える。さらに、本取組は顧客、店舗双方から好評を博し、それを受けて2020年11月からは隣接する西奉還町商店会と連携し、規模を拡大して継続した。商店街

の店舗同士で紹介し合う、互いの信頼関係があってこそ可能な連携が実現した。



「ぐるり奉還町」事業案内チラシ

実施体制

商店街の活性化のためには、斬新なアイデアとそのアイデアを実行する力が必要である。実施のための力として、青年部など若手との連携が不可欠であった。そのため、約2年前に商店街組合の改編により執行部の若返りを行い、青年部との連動に弾みを

つけた。これにより役員のリダーシップと若手のアイデア・行動力により、コロナ禍においてもさまざまな企画を実施する体制を整えた。さらに、商店街として、ホテルや医師会等が加盟する西口活性化協議会にも参画し、各専門分野からのアドバイスだけでなく、ホテル宿泊客に商店街企画を発信することで誘客に繋げるなど、地域全体での活性化にも取り組む連携体制を構築できた。

キーパーソンからのコメント

地域に支えられ、順応する商店街

商店街は、商店街のなかでいろいろなことを話し合ってきましたが、現在多種多様な選択肢のある世の中において情報と地域連携は必須です。私たちも以前は、昔からの商店街のルール、いつものメンバーで同じ話を繰り返してましたが、世の中は変化しています。私たちの周りには、学校・医療機関・大手企業・公的施設などがあり、そういった方々の意見を聞くことによ

り、商店街に新しい風を取り入れることができました。視野を広げ、地域の方々に支えていただきながら、時代に順応する商店街であるように心掛けていきます。



奉還町商店街振興組合 理事 畷本伸三

商店街の概要

奉還町商店街の起源は、100余年前、大政奉還により職を失った武士が藩から与えられた「奉還金」を元手に店を構え、商店街を形成したことによる。しかし、商いを知らない武家の商法は長く続かず、大戦により商店街は灰燼に帰した。戦後、岡山県庁が近隣に一時移転してきたことで商業活動が再び活発化。近年ではカフェやベーグル店など飲食店の割合が多くなった。商店街の取組として、1999年にコミュニティ施設「奉還町りぶら」を創設した。以後この施設はさまざまな講座の開催、学生への無料開放により、老若男女を問わないコミュニティの拠点となっている。

所在地 岡山県岡山市北区奉還町
人口 15万人(岡山市北区)
電話 086-252-1491
FAX 086-252-1491

URL <http://www.houkancho.com/top.html>
会員数 80名
店舗数 80店舗(小売業42店、飲食業18店、サービス業10店、その他10店)

商店街の類型 複合型
主な客層 高齢者、
家族連れ(親子)
／50歳代、60歳代